

## 宗内寺院紹介 54

三岐教区岐阜二部

## 谷汲山 華嚴寺



当寺は谷汲山華嚴寺といい、創建は桓武天皇の御宇、延暦十七年（七九八）で開基は豊然上人、本願は大口大領です。奥州会津の豪族・大口大領と当地の山中で修行していた持戒堅固な豊然上人が山谷を開き、堂宇を建てて御尊像を安置したところ、突然堂近くの岩穴より油が滾々と湧き出しました。その油を御燈明に用いたという逸話が京の都まで伝わり、その話を聞き召された時の醍醐天皇より「谷汲山」の山号をいただき、また御尊像に華嚴経が書写されていたことから「華嚴寺」と記された扁額を賜りました。

天慶七年（九四四）には、朱雀天皇より鎮護国家の道場としての勅願寺となり、仏具、福田一万五千石を拝領賜り、その後、花山法皇が三十三箇所観音霊場を御巡幸の折には当寺を第三十三番の満願札所と定めになられ、巡礼でお供された御禪衣と御杖、そして御製の三首の御詠歌を詠んで奉納されました。

①本堂 ②参道 ③客殿 ④【重文】毘沙門天 ⑤笈摺堂 ⑥元三大師堂

三岐教区岐阜二部  
谷汲山 華嚴寺住 所／〒501-1311 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲徳積23  
電話番号／0585-55-2033